

① ローリンググラップル実演研修会を開催しました！

6月21日(火)に、益田市美都町宇津川地内において、イワフジ工業(株)が開発したローリンググラップル(油圧集材機、架線式グラップル)の実演研修会を開催しました。当日は、素材生産業者、森林組合、市町の林務担当者や森林管理署など多くの林業関係者の参加があり、イワフジ工業(株)の開発担当者から、荷上げ、送材、荷下ろしによる集材実演、リモコンの操作説明などを行っていただきました。

ローリンググラップルは、材の荷上げから荷下ろしを架線式グラップルで行うとともに、油圧集材機と架線式グラップルをリモコンによる遠隔操作で行うことが出来る架線集材機です。この機械により、作業の効率化と労務軽減を図ることが可能となります。参加者からは、「価格はどのくらいか」「どのくらいの重量まで運搬できるのか」「どの程度の作業効率アップが見込めるのか」など、多数の質問が有り、関心の高さを感じました。今後の架線集材の効率化に向け有意義な研修となりました。



機械説明



機械説明



運材作業



荷上げ作業

② 益田翔陽高校の3年生が製材所と下刈り現場を見学しました！

今年度、木造の油庫製作に取り組む環境土木コースの3名について、製作活動の一環で林業と木材産業について学習するため、丸太の製材現場と林業の施業現場とを見学しました。

7/6(水)に安野産業(株)で丸太が加工され梱包用材とパレット材になる過程について実際に見学しながら説明を受けました。生徒からは、木材の用途として建築用材以外にも幅広く利用されていることを初めて知ったとの感想がありました。木材乾燥による収縮の異方性(縮む方向の違い)や、広葉樹パルプの用途など専門的な質問もありました。

7/8(金)は(株)美都森林の下刈り現場で、作業員が作業する様子を見学しながら説明を受けました。下刈りはおおよそ1反(約1,000m²)/人・日程度行い、23名いる作業員は若い人も多いとの説明がありました。また、現場によって刈り払い機に使う刃(笹刈り刃とチップソー)を使い分けるとの説明もありました。

既に授業で刈り払い機を使用した生徒もおられ、意見交換では「雨天でも仕事はやるのか」「夏以外はどのような仕事をするのか」との質問があり、実際に現場の仕事イメージすることができたとの感想がありました。

参加した生徒の中には将来林業への就業を希望している方もおられ、今後も生徒へのサポートや授業の開催を行う予定です。



製材所見学の様子①



製材所見学の様子②



下刈り現場見学の様子



刈り刃の説明を受ける生徒

③ JA営農センターにてイノシシ、サルの鳥獣対策講習会を行いました！

令和4年7月15日（金）の午前に2回、JAしまね益田グリーンセンターで開催された展示会の中で有害獣対策研修会を実施しました。当事務所の鳥獣担当が、展示会に来られた一般の方と農業者に向けての講習を行い、実際の被害や対策について、写真、動画、データ等を使用しながら、わかりやすく解説しました。来場者の方からは、サルの生態に関する質問やこれまで知らなかった生態を知ることが出来たという意見がありました。

鳥獣や対策方法に関する正しい知識を持つことで、しっかりと被害を無くすことが出来ます。鳥獣被害で困っている方々に、正しい知識を伝えられた良い研修になりました。



研修会の様子



グラフを使用して益田管内の鳥獣被害の状況を解説

④ JALしまね津和野支店にてサル、クマの有害獣対策研修会を行いました！

令和4年7月15日（金）の午後に、JAしまね津和野支店で開催された栗部会総会にて、有害獣対策研修会を行いました。津和野の名産品の一つであり、近年需要が高まっている津和野栗の生産者さんたちに向けての開催となりました。参加された部会員の方々は、栗被害を出すサルやクマの生態や被害対策について、真剣に話を聞いていました。

クマ対策としては電気柵、サル対策としてはワイヤーメッシュ柵と電気柵を組み合わせた複合柵が効果的ですが、実際に動物が電気柵で感電して逃げていく動画など、効果が目に見えて分かるものを示すと感心する声があがり、効果を理解していただけました。研修の最後には、質疑応答や意見交換が活発に行われました。



研修会の様子



話に聞き入る参加者の方々